

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公表番号】特表 2000-514233 (P2000-514233A)

【公表日】平成 12 年 10 月 24 日 (2000.10.24)

【出願番号】特願平 10-503841

【国際特許分類第 7 版】

F 2 1 V 17/00

F 2 1 V 3/02

F 2 1 V 19/00

【F I】

F 2 1 V 17/00 3 3 0 D

F 2 1 V 3/02 F

F 2 1 V 3/02 G

F 2 1 V 19/00 3 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 1 日 (2004.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 16 年 7 月 1 日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成 10 年 特 許 願 第 503841 号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ヴィリ ヴォルフガング オスヴァルト

3. 代 理 人

住 所 東京都港区西新橋2丁目7番4号

ドクトル・ゾンデルホフ法律事務所

電話 03 (3503) 3303 (代表)

氏 名 (6181) 弁理士 矢 野 敏 雄



4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正の対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容

別紙の通り



請 求 の 範 囲

1. 外周域に台座縁部（１９）を有しかつ中央域に、組付け状態で組付け基盤（５，１６，２１）から突出する光源（４）を固着するための台座アタッチメント（８）を有する、前記組付け基盤（５，１６，２１）に支承可能な照明台座（２，２′，２″）と、該照明台座（２，２′，２″）に着脱可能に装着された輝膜シェード（３）とを備え、該輝膜シェードが、組付け状態では実質的に該輝膜シェード（３）しか実見できないように、前記光源（４）と、前記組付け基盤（５，１６，２１）から突出する台座域とを遮蔽している形式の照明装置（１，１′，１″）において、輝膜シェード（３）が、シェード開口（２６）を画成するシェードカラー（１２）を有しており、該シェードカラーが、前記輝膜シェード（３）の内室の方へ向いた当接ウェブ（２７）でもって前記台座縁部（１９）の周面に係合していることを特徴とする、照明装置。
2. 照明台座（２，２′，２″）の台座アタッチメント（８）が、雌ねじ山として形成されたシェードねじ山（１０）を介して輝膜シェード（３）を螺合させるために、雄ねじ山として対応成形された台座ねじ山（９）を有している、請求項１記載の照明装置。
3. シェードねじ山（１０）が、輝膜シェード（３）の周方向に対して直角な横方向に延びる結合ウェブ（１１）を介してシェードカラー（１２）と結合されている、請求項２記載の照明装置。
4. 結合ウェブ（１１）が輝膜シェード（３）の周方向で閉じられている、請求項３記載の照明装置。
5. シェードカラー（１２）が、シールエレメント（１８）を介在させて台座縁部（１９）を取り囲んで係合している、請求項１から４までのいずれか１項記載の照明装置。
6. 輝膜シェード（３）が一体部分から構成されている、請求項１から５までのいずれか１項記載の照明装置。
7. 輝膜シェード（３）及び照明台座（２，２′，２″）が回転対称形に形成されている、請求項１から６までのいずれか１項記載の照明装置。

8. 輝膜シェード (3) が、組付け基盤 (5, 16, 21) から離反する方へ向かって円錐形にテーパを成すように形成されている、請求項1から7までのいずれか1項記載の照明装置。
9. 照明台座 (2'') が円錐形又は截頭円錐形に形成されており、かつ輝膜シェード (3) から縦軸方向で離反する方の側へ向かってテーパを成す横断面を有している、請求項1から8までのいずれか1項記載の照明装置。
10. 照明台座 (2', 2'') が組付け状態で少なくとも部分的に組付け基盤 (16, 21) 内へ挿入可能である、請求項1から9までのいずれか1項記載の照明装置。
11. 電気的な光源 (4) が照明台座 (2, 2', 2'') に配置されており、しかも該光源 (4) が、前記照明台座 (2, 2', 2'') に固定された接点ソケット (29) と電氣的に接点接続可能であり、特に電気的な接点接続のために螺合締結可能である、請求項1から10までのいずれか1項記載の照明装置。
12. 接点ソケット (29) が台座アタッチメント (8) に固着されており、かつ該台座アタッチメント (8) の外周面に一体成形された台座ねじ山 (9) に対して同心的に配置されている、請求項1から11までのいずれか1項記載の照明装置。
13. 照明台座 (2, 2', 2'') が、光源 (4) 又は接点ソケット (29) と結合されていてエネルギー供給源に接続可能な導電線 (13, 15) を収容するために少なくとも1つの収容通路 (25) を有している、請求項1から12までのいずれか1項記載の照明装置。
14. 収容通路 (25) が、結合ウェブ (11) と照明台座 (2, 2', 2'') との間に形成されている、請求項13記載の照明装置。